



# 昭和こじょう会便り

2008年12月 54号

発行：名古屋市高年大学鯨城会・昭和鯨城会

(荒畑・竜興寺)

## 目 次

表紙(竜興寺) .....	富田 紘八郎(20期) 撮影	
活動スケッチ・クリーンパートナー .....	昭和鯨城会 .....	2
特別寄稿 .....	名古屋市昭和区役所区民生活部主幹・山田 博康 .....	3
活動結果報告 .....	昭和鯨城会 .....	4
行事予定 .....	昭和鯨城会 .....	5
福祉まつり .....	昭和鯨城会 .....	6
区民まつり .....	昭和鯨城会 .....	7
有松散策 .....	前田 順子(21期) .....	8
紅葉の東山荘と山崎川 .....	昭和鯨城会 .....	9
行こみゃー昭和区③ .....	村上 洋三(20期) .....	10
リズム体操 .....	辻 慶明(14期) .....	12
グラウンドゴルフ .....	永田 祐千(17期) .....	13
ボランティア活動 .....	奥田 幸雄(20期) .....	14
	山田 その(21期) .....	14
俳句 .....	石橋 政雄(17期) .....	15
短歌 .....	中島 正義(20期) .....	15
掲示板・編集後記 .....		16

### 活動スケッチ・クリーンパートナー



10月22日・山王通

## 特別寄稿



名古屋市昭和区役所区民生活部

主幹 山田 博康

昭和鯉城会様におかれましては、区民との協働まちづくり事業など、昭和区の魅力あるまちづくりにご協力いただき、大変感謝しております。

また、区民まつりにおきましては、土鈴の絵付け等のブースをご出展いただき、ありがとうございました。小さいお子さんに絵付けを手伝っておられた鯉城会の皆様のお姿は、大変微笑ましいものでありました。

さて、私は、今年の4月に昭和区役所にまいりましたが、地域での人と人とのつながりが希薄化していると言われるなか、一緒にまちづくりをしていただける方が、どれほどいらっしゃるのだろうかという不安がありました。しかし、昭和区には、「自分たちのまちを自分たちで創っていく」という考えをお持ちの方が大勢いて、昭和鯉城会の皆様も、このような考えをお持ちであろうと思います。

現代社会においては、コミュニティが血縁、地縁、そして知縁へと変質していると言われています。昭和鯉城会の皆様は知縁で結ばれた心強いグループで、これからの社会の一角を担っていくものと思われまます。

皆様には、これまで、マップ「The SHOWA」を初め、ゆめ緑道ごきそ、川名公園森づくり隊、昭和区グリーンマップへのご協力をいただき、魅力あるまちづくりを進める職員一同、大変感謝しております。皆様の活動しておられるお姿を見て感じることは、皆さん生き生きとしておられる。そして世代を超えて、時にはお孫さんほどの年齢の方と一緒に活動する機会もありますが、楽しく活動しておられる。このバイタリティーや優しい心を見習いたいものです。

最後に、昭和鯉城会様のますますのご発展を願うとともに、末永くお付き合いくださいませうよろしくおねがいします。

# 活動結果報告

* 会議	9月	6日	昭和区福祉まつり実行委員会(長谷川)		
		12日	9月度役員会		
				① 趣味の作品展 12月16、17、18日に延期	
				② 昭和区区民まつりについて	
	13日	第4回グリーンマップ	まち歩き調査(川名公園、香積院、八事球場跡、隼人池) 大館、小塚、近藤(誠)、富永、日比野、前田(重)		
	30日	昭和区区民まつり実行委員会(長谷川)	衆議院総選挙投票日が10月26日ならば区民まつり中止		
	10月	10日	10月度役員会		
				① 高浜氏(社会福祉協議会)による社協PR ② 趣味の作品展延期の確認 ③ 区民まつり当番制確認	
	11日	第5回グリーンマップ	まち歩き調査(八事興正寺、八事山) 大館、小塚、近藤(誠)、富永、長谷川、日比野、前田(重)		
	16日	鯉城会 幹事会(大館、日比野)			
	17日	昭和区区民まつり実行委員会(長谷川)			
	23日	鯉城会 ボランティア連絡協議会(長谷川)	各区会のボランティア担当者の現状報告		
	27日	代議員会(長谷川)			
				① 各区の同好会、サークル活動を鯉城会として統括したい (区会の自主性、自治等につき、異議続出)	
				② モリコロ基金申請するも却下され、次回は申請しない (ボランティア活動としては未熟)	
				③ 12月4日 公開講演会 "音楽は心の常備薬"	
	11月	8日	第6回グリーンマップ	まち歩き調査(鶴舞公園、桜花学園、御器所) 荒木、小塚、近藤(誠)、富永、長谷川、日比野、前田(重)	
			11月度役員会		
				① 区民まつり成功裡に終わる ② 趣味の作品展(12月16日~18日) 準備、役割分担等	
		14日	昭和区区民まつり 役員会・実行委員会(長谷川)	21年度は10月18日(日)の予定	
* 行事	9月	6日	川名公園清掃(川名公園森づくり隊)	3名	
		9日	区民まつり用ストラップづくり	4名	
		24日	クリーンパートナー	12名	
		29日	行事 有松散策	11名	
	10月	4日	川名公園森づくり隊 公園清掃	3名	
		20日	なごやかハウス福原 剪定作業ボランティア(20~22日)	延べ14名	
		22日	クリーンパートナー	8名	
		26日	昭和区 区民まつり	25名	
	11月	1日	川名公園清掃(川名公園森づくり隊)	7名	
		13日	名古屋市クリーンキャンペーン	8名	
		18日	車いす介助(社協より依頼、18~22日)	10名	
		26日	クリーンパートナー	12名	
	28日	紅葉の東山荘と山崎川散策	19名		

# 1月～3月の行事予定

## 【1月】 新春初詣 成田山と犬山城

犬山成田山を参拝し、古い町並みで城下町の面影を訪ね歩く

- 実施日 : 1月30日(金)
- 集合時間 : 午前10時00分
- 集合場所 : 名鉄犬山線 犬山遊園 改札出口



## 【2月】 大須演芸場

庶民の街大須で半日、大衆演劇を楽しみましょう。

笑いは健康に一番！

- 実施日 : 2月20日(金)
- 集合時間 : 午前11時30分
- 集合場所 : 中区大須 大須演芸場前
- 入場料 : 800円 団体割引



## 【3月】 常滑 やきものの里散策

迷路のような坂道に息づく常滑焼千年の歴史と

今をひと巡りします

- 実施日 : 3月20日(金)
- 集合場所 : 名鉄常滑線 常滑 改札出口
- 集合時間 : 午前10時00分



## 福祉まつり・区民まつりに参加して

### 昭和鯉城会広報

本年も区内の会員や隣接区在住の鯉城会員が作陶された作品を提供願い、総数 190 点強が集まりました。その中には飛甕（とびかん）を使用した鉢・花瓶・皿・抹茶茶碗・湯飲み等の大作や小物もありました。作品を提供して頂いた皆さんに、この紙面を借りて御礼申し上げます。

8月22日提供を受けた作品をライト・ハウスに集め、役員が集まり陶芸学科5期の卒業生にリーダーとなって頂き、作品の「値踏み・値段付け」を行い、福祉まつりと区民まつり用に分けました。

最高値 1,000 円から最低価格 100 円と定め、提供作品の4割を昭和区福祉まつりに6割を鶴舞公園で開催される昭和区民まつりで展示・頒布する事にしました。

もう一つは、素焼きした土鈴にパステル絵具を使用しお子様等に絵付けをしてもらい、100円で頒布するものです。



### 福祉まつり（8月24日・昭和区役所）

23日午後から「福祉まつり」の準備を開始、会場の放置自転車の撤去・テント張り・展示用の机・椅子などを配置、強い雨の中鯉城会の男子役員やボランティア・スタッフが、ずぶ濡れになって設営が完了しました。翌日午後8時半に会員が集合、提供を受けた作品の配置、土鈴絵付けの準備作業を行い、開会式セレモニーに参加しました。その後、参加各団体が各種模擬店を開店し福祉まつりが始まりました。

土鈴の絵付けは、小学生や車椅子を利用された人も来店され素晴らしい作品にして、お持ち帰りになりました。

陶器の頒布会場では、作品を手にとって品定めをされ、お気に入りの物を購入されていました。昭和鯉城会が準備した作品の8割程度を頒布し、土鈴絵付けを含め収入は、20,000円程度になりました。

当日は猛暑の中、事故も無く無事終了しました。



## 区民祭り（10月26日・鶴舞公園）

区民祭り会場の設営は、小雨の降るなか8時30分から始まりました。フリーマーケットに参加する人・各種団体の協力者が、式典の開始に併せて設営作業を行いました。

昭和鯨城会のテントは、昨年と同じ場所であり土鈴絵付けと陶芸作品頒布を設営しました。今年は、雨天が予想されたので土鈴絵付けテーブルをテント内に収めたため、昨年より狭くなってしまいました。パステル絵の具・筆・土鈴などを配置し、もう一方のテーブルには陶芸作品の陳列を終えて10時の開会式を待ちました。



開会式の始まる時刻になると、小雨が降り始め、愛知県警察音楽隊のパレードは中止となり各種団体の参加者も少なく、寂しい開会式になりました。その後も、天候は回復せず悪条件での区民祭りの開催となりました。鯨城会の参加者は延べ25名で、陶器の頒布・土鈴絵付け作業のお手伝いをしました。

土鈴絵付けの参加者は35名程度あり、子供が独自の考えで自主的に作業を進める者、母親の意見を聞いて絵付けを行う依存型の子供など、多様な親子関係の風景が見られました。

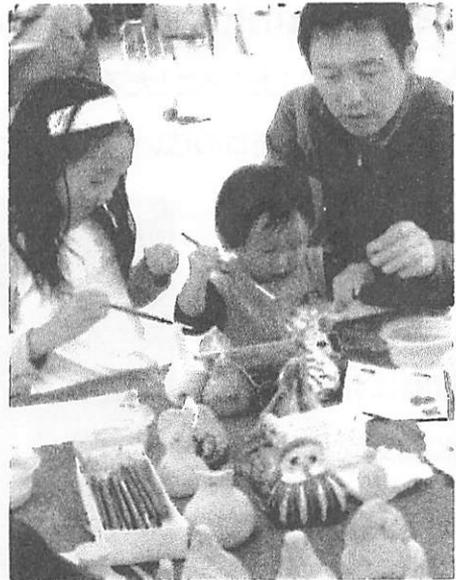
景が見られました。

陶芸作品の頒布は、持ち込んだ作品の6割程度で、最初は、雨天の影響もあり、客足も鈍く売れ行きを心配していましたが次第に来店者が増え、陶器を手にとりて気に入った物を購入されるようになって来ました。

購入者の評判としては、品質も良く手作り作品なので、いづれも「オンリー・ワン」、来年も続いて出展・頒布して欲しいとの御意見を頂きました。

陶芸作品頒布と土鈴絵付けを合わせて27,000円程度になりました。

今回の福祉まつり・区民まつりの収入は昭和区内の社会福祉団体に寄付することになっています。



チャリティー販売に陶器を寄贈して頂いた方々にお礼申し上げます。

# 行事レポート

## 旧い町並み有松散策

21期(文化) 前田 順子

9月29日(月)9時30分、地下鉄野並駅に集合。バスで有松へ。今にも降りそうなお天気で、参加者は11名。一同「やっぱりこの天気だとねえ…」気を取り直してバスに乗車。有松小学校で下車し、少し歩けば絞り会館。30分そこそこで来られるとは、以外に近い。今年は開村400年祭、のぼりもはためいていた。

会館の2階で有松についてのビデオレクチャーを受け、伝統工芸士の方の絞りの実演を拝見する。熟練の技に圧倒された。続いて、ボランティアガイドの方の案内で町並み散策に出発した。

近くに有松開祖、竹田庄九郎の記念碑があり、僅か8名の入植から有松の宿ができたことや、北斎・広重の浮世絵に描かれる程の繁盛の歴史を知ることができた。近くには有名な金さん、銀さんの手植えの「うこん桜」もあって、もう立派な若木に育っていた。

山車会館には「ほてい車」が入っており、一週間後の祭りには、他の山車と共に町並みにくり出すという。祭りが盛り上がることだろう。

町並みを廻り、間口の広い家が多いことに気付く。山がせまっていたこの有松は街道沿いに家が広がっていたという。

竹田家お屋敷の説明に、NHK大河ドラマの篤姫にも登場する将軍家茂が上洛の際、この家の茶室で休憩されたというのがあり、一瞬タイムスリップ、想像をたくましくしてしまった。



参加の皆さん

雨に降られず、半日楽しく散策できたところでお昼となり、解散。みやげに素敵なおスカーフを手に入れた方もあり、“来週の祭りに来たいなあ”と思いつつ帰路についた。

## 東山荘散策

20期 (陶芸) 富田 紘八郎

桜通線新瑞橋駅から、コンコースへの長いエスカレーターを昇ると中央改札がある。其の横に地下鉄車両の部品展示があり、パンダグラフや車輪の大きさを改めて見直した。集合時間が迫ってきているので東改札へ急いだ。

山崎川の左岸を歩くとソメイヨシノの古木が並木になっている。この桜の寿命は 80 年と言われており、幹の枯れかかっている樹木が見受けられる。其の根元には、「カタバミ」の濃い桃色、「菊科のシオン」の薄い桃色の花、「タマスダレ」の白い花が遠慮がちに咲いている。川の中では、60cm程の真鯉が、隊列を組んで泳ぎ、「コサギ」が小魚を啄ばみ、「カルガモ」は水草を食べている。「キジバト」や「セキレイ」が水辺で水浴などをしており、和やかな風景を醸し出している。

時折、「チー・チー」と甲高く鋭い鳴き声が聞こえ、注意して見ると水面に近い川岸の枯れた木の先端に、「翡翠色の宝石」の小鳥(カワセミ)を見つけることができる。

瑞穂運動場付近までは緑の多い堤であるが、これより上流側では、河川改修が進み石積みと親水公園となったコンクリート・ライニングの改修された水路になっている。堤は散策道が整備され、植栽帯の一部に「韃靼(だつたん)蕎麦」の薄紫の花を見ることができた。

陸上競技場付近の桜は、「里桜」が植え込まれており、更に溪谷をイメージして作られた噴水や滝がある施設が作られ、新しい景観を作り出している。この付近は、縄文時代の遺跡である「大曲塚の貝塚」や愛知の地名の基になったと言われる泉跡「あゆらの水」がある。

東山荘は、中区鉄砲町に住んでいた伊東信一氏(故人)が、大正の初めから 10 年余をかけ大部分は自然林を生かし、其の中央部に書院・茶室・枯山水の庭園を作庭し、別荘として使っていた。

山崎川に面した西側は石積みであり、他の三方は三和土といわれる「粘土・砂利・石灰」を練り合わせた材料で土留め・土塁が作られ自然林が生い茂った森を形成している。

敷地面積は、12,000 m<sup>2</sup>であり、この内に書院と茶室等の建物約 520 m<sup>2</sup>と、回遊式庭園があり、昭和 14 年伊東家より名古屋市に寄付された。一時期、名古屋市長公舎として利用されていたが、その後閉園されていた。昭和 42 年から改修工事が行われ、昭和 43 年 4 月 1 日から一般開放され、寄贈者の意志が生かされお茶会や歌会などが開かれ、市民が利用できるようになった。



参加の皆さん・東山荘



東山荘

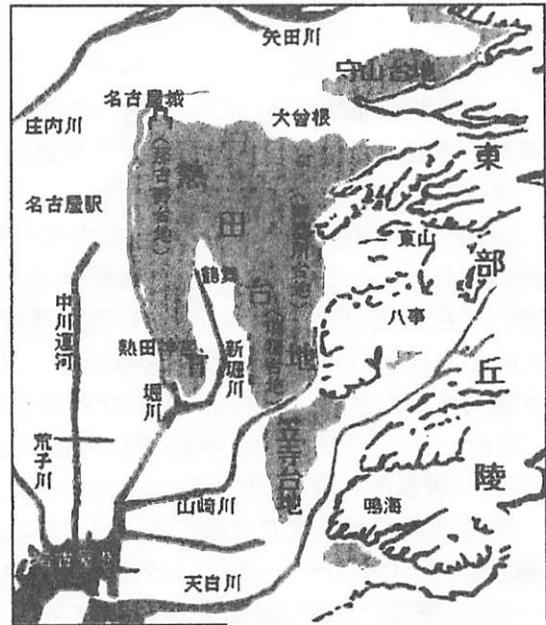
この季節は、枯山水の庭に植えられている「楓の紅葉」が見事であり、市内で余り知られていない「紅葉の名所」である。

前日の木枯らしが、嘘のような天候になり、参加した 19 名の会員は、全行程を歩き終え、無事最終点の石川橋で流れ解散しました。

## 御器所台地

地下鉄鶴舞線 荒畑 下車

江戸時代、名古屋の地形は御器所台地、瑞穂台地、那古野台地、笠寺台地など高台と城下町、田園地帯からなり、熱田の海へと続いていました。もともと御器所台地は御器所村と云われ、遠く八事まで続くのどかな農村地帯でした。集落には寺、神社、古墳もあり、古くから人々の生活が続いていました。御器所村と町との間には精進川が流れ、大池、丸池、天池、広見池など池の多い湿地帯で、度々の水害に悩まされてきました。明治後期に改修工事が始まり、川を掘削整備した残土は、熱田兵器廠とつるま公園予定地に運ばれ、精進川は新堀川として整備され、5年間かかりました。明治42年、鶴舞公園が市最初の公園として開園、同時に第10回関西府県連合共進会が盛大に開催されました。



名古屋の地形図 ▲

■ **竜興寺** (りゅうこうじ)・・・もともとは小さな曹洞宗の禅寺だったが、土地の豪族佐久間盛次(織田信長の家臣)の菩提寺として創建されました。建物は戦災で焼失しましたが、昭和54年実業家藤山雷太氏(愛一郎氏の父)の東京芝白金の迎賓館を宮大工魚津弘吉氏により解体移築。金閣を模した三層の楼閣と観月台は、昭和初期の建築家武田五一氏の設計で県指定文化財です。庭園内には阪神大震災で損傷した西宮の持仏堂八角堂(前記武田五一氏設計)や東浦町の古刹の建物が移築され、渡辺ご住職の貴重な文化財を大切に保存しようとする姿勢に頭が下がります。



竜興寺本堂 (県文化財) ▲

■ **久松寺**・・・竜興寺の末寺、曹洞宗。元和2年(1616)竜興寺第八世虎眼和尚が久松庵として創建。境内には地藏堂、五輪塔、宝篋印塔(ほうきょういんとう)があり、本堂には市内では珍らしいなまこ壁もあり、堂内にはモザイク造りの釈迦の生涯を描いた釈迦八相図があります。

■ **尾陽神社**・・・嘗て御器所西城跡と云われ、御器所台地の高台に位置し、西側の眺望は抜群。神社は古く奈良時代から存在との説もあるが、大正11年(1922)名古屋開府300年を記念して、名古屋市により創建されました。天照大神を主祭神とし、初代尾張藩主徳川義直公と慶勝公を祀り、栄世稻荷、学問の神様久延彦神社もお祀りし、地元住民に親しまれています。

■ **宗円寺**・・・マンション1階のお寺。仏像、石仏など外から誰でも礼拝できます。この宝篋印塔(ほうきょういんとう)は市内最古南北朝期の遺構も残るものと云われ、以前はどこか別の場所にあったもの。佐久間氏関連の墓との説もあります。

■ **御所屋敷跡**・・・豊臣秀吉の生母なか(大政所)の生誕地と云われ、現在小さな祠、石柱、説があります。石柱には「御所屋敷 伝日持萩中納言宅跡」と彫られています。徳

川の天下になり、秀吉に関する資料、記述などは殆ど抹殺され真偽のほどは解りません。

■ **名古屋のへそ(人口重心)**・ちょっと耳慣れない言葉ですが、名古屋の人口を市域に配分し水平に保つ中心点を「人口重心」と云います。つまり名古屋のまんなか、へそなのです。国勢調査のたびに決まります。現在は昭和区地下鉄荒畑駅の東南、紅梅町1丁目あたりです。以前は名古屋の中心中区栄付近だったのが、大須、上前津、鶴舞と少しずつ人口増加方向の東南へ移動、当分は昭和区が名古屋の中心になりそうです。

ちなみに昭和区の人口重心は広路本町3丁目付近(地下鉄川名駅 西570m)です。

■ **郡道**・昔の御器所村の幹線道路で、現在市内で「郡道」と云われる道はここだけです。北は千種区古井の坂から、南は東海道、呼続まで南北約6km、沿線は静かな住宅地、文教地帯が続き、戦災を免れた所も多く、レトロで庶民的な町並みが残っています。

■ **御器所八幡宮**・御器所村の鎮守様として地元佐久間氏の尊敬も篤く、多くの氏子を持つ古い社です。神仏習合の名残りとする聖観音像など、鎌倉期風の小型仏像6体を所蔵(熱田神宮宝物殿で保管)。年間、夏祭り、赤丸神事、秋の大祭、お馬塔、初詣、七五三、合格祈願など多くの行事もあり、地元の参拝者の多い神社です。

■ **古墳**・このあたりは古代から人々の住みやすい土地だったようで、昭和区から瑞穂区南区にかけて沢山の古墳が残っています。八高古墳、円中古墳、五中古墳、八幡山古墳、一本松古墳など、いずれも5~6世紀頃のもの、中でも八幡山古墳は県下最大の規模で、国指定保存地区になっています。

■ **小酒井不木**・わが国探偵小説の元祖、江戸川乱歩とともに大正から昭和にかけ活躍したミステリー作家。愛知県蟹江町出身、愛知一中から旧制三高、東大へ。後に東北大助教授として欧米へ留学。医学博士としての科学知識をミステリー小説の分野で発揮し、大正から昭和初期に数々の注目作品を発表。しかし持病の結核が悪化し、昭和4年39歳の若さで死去。晩年は大正9年から10年間、現在の昭和区鶴舞四丁目に居住していました。

■ **八高**・明治41年、わが国最後のナンバーズスクール第八高等学校が、郡道沿い滝子の南の小高い丘の上に創立されました。以来、戦後昭和25年名大に引き継がれるまで、約1万人近い青年たちが八高を巣立ち、全国の多分野で活躍しました。

■ **屋根神様**・名古屋周辺、濃尾平野の町の軒先、屋根や庇に祀られている小さな社。熱田神宮、秋葉神社、津島神社を祀り、毎月1日と15日にお供えとお参りをします。西区が最も多く、昭和区では吹上、北山、白金、緑町などに残っています。最近はだんだんと姿を消していく事はとても残念です。

● **ご存知ですか・トロリーバス(無軌条電車)**

戦時中軍需工場への工員の輸送のため、市交通局が考案したピンチヒッターがこのトロリーバス。9年間と短い期間でしたが桜山から今池、東大曾根まで6.15kmを走っていました。ポールから電気を取るバスで、故障が多く、ノロリーバスとか御器所電車と云われていました。



トロリーバス 10000型 車両 ▲

次号では 枳中周辺 を紹介します

## クラブ便り

### 昭和鯉城リズム体操クラブニュース

リズム体操クラブ会長 17期(国際)辻 慶明

世の中は、アメリカ発金融恐慌により騒然としておりますが、そんな中「リズム体操クラブ」の皆さんは、そんなのどこ吹く風とばかりに元気一杯頑張っております。

10月29日(水)に恒例の年1回の親睦会を瓦町の木曾路本店で行いました。池田先生、西川先生、大塚先生もご出席くださり、会員101名とともに12時30分より約2時間、会席料理を食べ、飲み放題に心をゆるし、心ゆくまで談笑しました。

有志による余興は、簡単な頭の体操(18期栗本さん)、手話コース(17期中西さん、19期八神さん、20期森さん)、カラオケ(8期酒井さん)踊り(19期近藤さん、岡村さん)、ゼニ太鼓(17期近藤さん、18期加藤さん)と続き、まるで演芸大会と思うくらいの芸達者揃いに、会場は、大いに盛り上がりました。



この会の企画は、すべて世話人の18期大野さん、19期酒井さん、八神さん、岡村さん、近藤さん、20期桑原さん、森さん、小川さんに執り行って頂きました。

席順のカード作りや福袋などを用意していただき、女性の方の生活の知恵には、頭が下がりました。抽選により当選者が出ると一段と座が盛り上がり、当選者の所までお届けするのが会長の役目という事で20回あちこち走り廻るうちアルコールが回りフラフラでしたが、皆さんに楽しんで頂き良かったなと思えました。世話人の方々のご苦勞に感謝いたします。

次の仕事は、平成21年度上期(4月から9月まで)の会場の申し込みが1月4日から始まります。よって今年中に申し込み作業を済ましておくため、練習日にハガキを渡しますので、ハガキ書き、チェック作業等、多忙な時期ではございますが、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

11月末日現在、会員数は、127名です。今年度新入会員数は7名で病気、けがなどで退会された人は、8名です。

最後に私の好きな言葉を一言「一笑一若・一怒一老」です。皆様の若さのために笑って暮らさなければ損ですね。今年も一年有難うございました、師走の忙しい中ですが、会員の皆様には風邪などひかずに健康第一で、来年も益々明るく楽しいクラブ活動が出来ますよう心よりお祈りいたします。

# グラウンドゴルフクラブニュース

## 名東鯨友会 vs 昭和鯨城会親睦競技会

17期 (文化) 永田 祐千

10月3日、恒例の名東鯨友会との親睦競技会が、名東鯨友会の主催にて本郷公園で開催されました。地下鉄本郷駅から徒歩5分と近く、小高い森の中大木の緑に囲まれ、静かな好環境の中で楽しくプレーできました。競技会には、30名(昭和13名、名東17名)が参加しました。当昭和鯨城会は、苦戦を強いられ、名東鯨友会に5位まで独占され惨敗でした。

10年程続いた当競技会は、今回にて終わることになりました。今後は、鯨城会主催の仮称・16区対抗グラウンドゴルフ大会に発展的に引き継がれることとなります。

新しい競技会には、積極的に参加していきたいと思えます。

### 昭和鯨城会からの参加者(順不同、敬称略)

田中 美代子	春日井 正幸	山本 きぬ子	光崎 俊男	近藤 清晴
国松 篤美	渡辺 忠	吉村 卓次	佐治 正夫	松永 武敬
永田 祐千	磯村 良治	小塚 浩		

## お知らせ

### 区対抗グラウンドゴルフ大会の開催

この大会につきましては、昭和こじょう会便り53号にてお知らせいたしましたが、順調に開催の準備が進み、11月10日に実行委員会が発足し、平成21年3月の開催を目指し進行いたしております。

### 12月～3月プレー開催日予定 (1月は休み)

	競技日	練習日	競技日	練習日
12月	2日	9日	16日	休み
1月	休み	休み	休み	休み
2月	3日	10日	17日	24日
3月	3日	10日	17日	24日

プレー開始・10時から2ゲーム(約1時間)

場所 ・名古屋高速吹上高架下広場

雨天は、休みです

## ボランティア

### 剪定しました

20期(環境) 奥田 幸雄

10月20日と21日の午前中、栗田顧問をリーダーとし、延べ12人で介護施設「なごやかハウス福原」において剪定を行いました。各自剪定バサミなど道具を持参し、施設周りの植木の刈り込みや、大木の枝、葉払いなどを行いました。1年経つと植木の枝は茂って、剪定のやりがいがありました。



皆さん手馴れた手つきで要領よく、また全員が協力して取り組んだので作業は、はかどり心地よい汗をかきました。

### ボランティア活動の一部

21期(福祉) 山田 その

鯉城学園卒業後、昭和鯉城会に入会しボランティア委員となり、川名公園森づくり隊を知りました。川名公園は、防災公園として整備中でその一角に森をつくり、毎月第1土曜日午前10時より1時間半ほど草刈、草花の種蒔き、花壇の整備等で汗を流しています。

自然観察をしながら、自然と触れ合うことのできる森を育てる目的の作業は楽しみです。何年か先、昆虫を探す子ども達の明るい元気な姿、大樹の下で弾む会話等を想像しながらの作業は心を温かくしてくれます。

ボランティア1年生としての感想は、身近かなところでも、知らない活動がいっぱいあり、これからもできるところから、できる時間に実行して行こうと思います。

先輩に教わりながら、学園で学んだことを地域で役立てることの大切さを実感しています。

俳句 世界遺産・白川郷

十七期(環境)石橋 政雄

紅葉川渡り合掌村に入る

コスモスの径に相寄る合掌屋

茅葺きの障子明かりに導かれ

屋根裏に 檼かんじき 吊るす合掌屋

茅葺きの障子に明し照紅葉

白川の郷に紅鱒水澄めり

小鳥来て茅葺き屋根をめぐりをり

茅束と並ぶ案山子や白川郷

白川郷見下ろす紅葉溪谷に

雲上の白山仰ぐ谿紅葉

短歌

二十期(文化)中島 正義

味噌汁の香りほのかに匂いきて

朝の眠気をふんわりはらう

両腕を湯船にふわりと浮かばせて

明日あしたのことは明日あす考える

捕まえし蟬を空へと放つ孫

今日の一善になるかと問えり

歩むのも高速道も人生も

追い抜かれるを常としており

吾が姿見るかの如き心地せり

要介護なる兄を見舞えり

## 掲示板

★ 鯨城学園を来年卒業する22期生の昭和区在住者は、29名です。  
その方たちの、受け入れ準備が進んでいます。22期生向けの二回目の説明会が、1月16日(金)に行われます。

### ★ 第93回 鯨城学園公開講座

テーマ・中国の楽器「二胡(にこ)」の演奏、 講師は調整中  
日 時・平成21年2月13日(金) 午前10時～午前11時30分  
会 場・鯨城学園5階鯨城ホール

### ★ 第18回 鯨城会公開講演会

テーマ・笑いは百薬の長、 講師・蟹江 篤子氏  
日 時・平成21年2月26日(木) 午後1時30分～午後3時  
会 場・鯨城学園5階鯨城ホール

## 編集後記

区民まつりに初めてホストとして参加しました。空模様を気にしながら準備作業が行われていましたが、参加した団体数の多いのに驚きました。あれだけの各種団体をまとめて一つの事業をするには、準備にご苦労があったと思います。まつりは、市民に楽しんでもらうのが目的ですが、もう一つ各種団体が一堂に会する事は、それぞれの存在を知り、理解する貴重な場になっているのではと思いました。

昭和鯨城会の全会員が一堂に会する事は不可能に近く、全会員を結ぶ役割の一端を「昭和こじょう会便り」が、担っていると思います。

本号から、編集作業は、21期の委員が中心に進めていきます。今後とも、「誤字のない、正確な紙面づくり」に努めますが、60歳を過ぎ経験の少ない編集者達ですので、不本意ながら完全とはいかないでしょうが、暖かく見守って頂き、アドバイスをお願いします。

## 昭和鯨城会会報 「昭和こじょう会便り」54号

発行責任者:長谷川 勝美

編集委員:富田 紘八郎

森 セツ子

後藤 崇

松村 照子

吉田 圭子

村上 洋三

渡辺 晴朗

日比野 勝

安福 郁子